

## 第2回大口町行政経営審議会 議事録

- 日 時 平成27年8月19日 水曜日 午後7時から
- 場 所 大口町役場 2階 第1会議室
- 出席者 田村健治（国際交流事業推進委員）、舟橋里美（商工会）、  
 木野由美子（NPO法人まちなえと大口）、加藤正男（タイム技研株式会社）、  
 山田吉昭（株式会社青山製作所）、丹羽昭雄（有限会社宝製作所）、  
 今尾謙一（愛知銀行）、岩崎恭典（四日市大学教授）、棚村重三（元区長会長）、  
 江端満世志（元議会議員）、井上正直（公募による委員）、  
 日比野喜也（公募による委員）、井上隆夫（公募による委員）
- 欠席者 吉田美晴（社会教育委員）、吉田和江（NPO法人子どもと文化の森）
- 事務局 馬場輝彦（総務部長）、社本寛（政策推進課長）、岩田雄治（政策推進課）
- 議 題 (1)第7次総合計画策定の進捗状況について  
 (2)第7次総合計画の基本骨子（案）について  
 (3)今後の審議の進め方につて  
 (4)その他
- 配布資料 資料1：計画骨子案  
 資料2：データで見る大口町の現状  
 資料3：町の将来像  
 資料4：まちづくりの基本理念  
 資料5：将来人口推計  
 資料6：土地利用方針  
 資料7：総合計画策定スケジュール案

### 1. あいさつ

会 長	<p>○6月の第1回審議会で初めてお目にかかってから、暑い季節をむかえている。事務局も、総合計画とともに地方創生の総合戦略も同時に策定しており、多忙のことと思う。</p> <p>○マイナンバー制度の導入や教育委員の総合教育会議の運営など、様々な制度改正が重なり行政は非常に忙しい状況にある。住民のために、地域の企業の発展のために、持続可能な大口町を作るために、精力的に動いてもらっていると思う。</p> <p>○10年後の大口町の将来像を検討するための根本となる計画が総合計画である。そこから、総合戦略に関する重点施策も導き出されてくる。</p> <p>○皆さんには、大口町の関係者として、本日も忌憚のないご意見をお願いしたい。</p> <p>○本日は、第6次総合計画策定時からの時代の変化に応じた変更などを踏まえつつ、資料1の基本骨子をもとに、今後の計画策定の方向性を検討して頂くことが本日の会議の最大の目的である。</p> <p>○まだ固まった内容ではないとのことなので、一通りご説明いただいたあとに、ぜひ積極的にご意見を頂きたい。</p>
-----	--

## 2. 議題

### (1) 第7次総合計画策定の進捗状況について

#### (3) 今後の審議の進め方について

会 長	<p>○今後の審議の進め方について、策定スケジュールの見直しも検討されているとのことである。資料7をみると、本来は8月上旬に予定していた本日の第2回審議会もすでにずれこんでいる。さらに9月には基本計画部分について集中的な審議を予定しているが、その日程も厳しい状況にある。</p> <p>○12月議会上程を前提として考えると、腰を据えて議論することは日程的に難しいと感じていた。3月議会であれば、もう少し余裕はある。ただし、3月は必須であるので、そこをタイムリミットとして議論する時間をしっかり確保していくことも考える必要がある。</p> <p>○そのあたりも踏まえうえで、内容の審議の前に、議題としては順番が逆になるが、まずはスケジュールの見直しについて事務局からご説明いただきたい。</p>
事務局 岩 田	<p>※資料7「第7次大口町総合計画策定スケジュール」の説明</p> <p>※あくまで、議会の承認も得たうえで正式な見直しを行うことを確認。</p>
委 員	<p>○資料7のスケジュールは、あまりに大雑把すぎる。誰がいつまでに何をやるのか、詳細スケジュールはできていないのか。担当するスタッフの固有名詞が入っていないと、責任があいまいになりかねない。</p> <p>○そうした詳細スケジュールないのであれば、実現は難しいと考える。</p>
会 長	<p>○たとえば、策定部会がいつまでにどんなものを示すのか、明確にすべきとのご指摘かと思う。</p>
委 員	<p>○大きな紙にスケジュールを掲示して、終わったものから塗りつぶしていくような、わかりやすい示し方を提案したい。実施していく意思はあるか。</p>
事務局 岩 田	<p>○事務局だけでなく、かかわっているメンバーがスケジュールを共有できるような工夫をしていきたい。</p>
会 長	<p>○策定部会の作業をはじめ、これから作業が山場をむかえる時期なので、作業スケジュールの共有が不可欠であるとの提案だったと思う。ぜひ参考にしてほしい。</p>

### (2) 第7次総合計画の基本骨子（案）について

事務局 岩 田	<p>※資料1「計画骨子案」、資料2「データで見る大口の現状」、資料3「町の将来像、資料4「まちづくりに基本理念」資料5「将来人口推計」、資料6「土地利用方針」を一括で説明</p>
会 長	<p>○冒頭に申し上げたように、本日は、資料1をもとにして、第7次総合計画の構成や流れはこれでよいのかご検討頂きたい。また、時代背景の認識、計画の背景、大口町の主要課題など、計画の前提となる序論を中心にみなさんのお立場からお気づきの点についてご意見を頂きたい。</p> <p>○将来像や基本理念は、第6次総合計画を継承していくという案だが、これでよいのか。</p>

	<p>○10年後の推計人口も23,500人という具体的な数字を出しているの、ここについてもご意見があれば伺いたい。</p> <p>○1時間の限られた時間のなかで、なるべく多くのご意見を頂きたい。</p>
委員	○資料6の「土地利用方針」について。国道41号の6車線はわかるが、国道155号の2車線化とはどういう意味か。
事務局 岩田	○片側2車線なので、計4車線としてここでは表記すべきだった。間違えているので、お詫びし訂正をお願いしたい。
委員	○第2章のまちづくりの尺度について。抽象的な内容のようだが、数値目標などを盛り込むのか。そのあたりの表現はどうか。 ○主要課題と目標の対応はどうなっているのか。また、記載の順番は重要度を表しているのか。
会長	○6次では、まちづくりの尺度は施策・事業を進めていくうえでのチェックリストになっている。
事務局 岩田	○まちづくりの尺度は、事業を推進していくために常に意識すべき視点として盛り込んでいくことを考えている。
委員	○例えば、愛知県などの基準と比較して「安全」か、といった視点で書かれるのか。
事務局 岩田	○具体的な目標数値などは、第3編の分野別計画のなかで具体的に示していくことを考えている。 ○課題の記載順は、必ずしも重要度や優先順位を示しているのではない。ただし、固まった内容ではないので、今後必要に応じて見直していきたい。
委員	○資料2で、類似都市との比較がデータで整理されている。比較対象が愛知県内の都市になっているが、例えば交通事故の発生件数などについては愛知県そのものが全国で最下位に位置するのに、その中での優劣を論じていいのか。 ○医師の数も介護施設も充実しているとあるが、全国の平均と比較すると必ずしもそうではなく、これは間違った印象を与える。全国の平均値との比較を提示していただきたい。 ○第6次では、地域経営の推進の中に地域自治組織の記述は出てこなかった。第6次を経て、小学校区ごとに地域自治組織を立ち上げてきた経緯や趣旨を知りたい。 ○私を知りうる限り、平成18年度前後の平成の大合併の時代に、現行の11の自治組織の在り方について検討したことがきっかけになっていたと思う。その時の経緯があいまいなまま、行政経営の効率化の観点から地域自治組織の役割が語られているのではないか。 ○地域自治組織の立ち上げについて、職員の理解も十分に進んでおらず、町民の理解も進んでいないのではないか。何年もかけてじっくり進めてこられたが、その中身について十分に理解できていない関係者が多いのではないか。 ○主要課題(5)地域経営の推進のなかで、地域予算制度などの具体的な表現も見られる。
会長	○地域自治組織の経緯については聞いている。合併について検討されていた当時、

	<p>「合併しても大口町の地域自治組織が残る」という町長の言葉が印象に残っている。</p> <p>○地域自治組織設立の目的が、経費節減の裏返しのような位置づけになると、かえって誤解を与える。町としての明確な方針をわかりやすく示す必要がある。</p>
事務局 本社	<p>○平成合併の検討を行った際には、財政的にゆとりがある大口町は、引き合いが多かった。当町としては合併は反対ではなかったが、財政基盤の強化を目的とした合併については、まず各市町が努力することが必要であるとの立場であった。</p> <p>○合併があろうとなかろうと、将来的にも持続可能なまちにするために、町民と一緒に進めていくことが大事であり、行政区と地域自治組織が必要であると考えて進めてきた。</p> <p>○他の自治体では、財政的に厳しい状況のなかで地域自治の取組を進めているところが多いが、大口町ではお金を削るための合理化や行政改革を目的としたものではない。</p> <p>○大口町では、小学校区の単位で歩いていける規模のまちを作ることを目的にして、学校区くらいの大きさで共通の課題を考えてもらっている。</p> <p>○持続可能なまちを目指して町民のみなさんと一緒にやりませんかと呼びかけて進めているので、わかりにくい面もある。じっくり時間をかけて、実践しながら理解を深めていくしかないと考えている。</p> <p>○ボランティア団体とNPOも、初めの頃はお互いに理解不足でうまくいかない場面もあったが、徐々に協力関係が生まれている。</p> <p>○みんなと一緒にいろんな自治活動に取り組むことで、地域の交流が深まり、また高齢者の生きがいがいづくりにもつながっていくようになるといい。</p> <p>○行政の取組としては、まだ道半ばではあるが、引き続きしっかり取り組んでいきたい。</p>
会長	<p>○地域自治組織を、まちづくりの推進母体としてどう位置付けていくのか、第7次の目玉の一つになる。</p>
地問 加藤	<p>○県によって統計資料の違いもあり、全国データを整理するのが難しいものもある。</p> <p>○交通事故などは、確かに比較対象が適切ではない面もある。ただ、今回はみなさんの生活感覚として、地域性や雰囲気がわかる周辺及び県内の類似都市を選んだ経緯がある。</p>
会長	<p>○交通事故のデータについては、確かにご指摘のとおりである。</p> <p>○6車線化を進めるといいつつ、交通事故への対応も求められるので、相反する面もある。</p>
地問 加藤	<p>○愛知県は交通事故のなかでも、とくに死亡事故が多いといわれている。</p> <p>○人口1,000人あたりの人身事故発生件数は、実は低い水準にある愛知県の中でもさらに状況は悪いので、とても水準が低い</p> <p>○国道41号などの産業部門の交通量が多いことにも起因しているのではないかと。</p>
事務局	<p>○ご指摘のとおり、大口町は県下でも事故発生件数はトップクラスである。</p>

社 本	<p>○平成22年の国勢調査では、昼間に町外へ働きに出る町民が約7,000人、町外から大口町に働きに来る人が約17,000人おり、昼間人口の増加率は飛島村などに次いで高い。しかも、公共交通が不便なので、そのほとんどの人は車で出入りしていることになる。</p> <p>○工場が多く企業活動が活発であるがゆえに、トラックなどの物流関係の交通量も多いことも、交通事故が多いことの要因として考えられる。</p> <p>○企業のみなさんとも一緒に現状を共有しながら、課題解決に取り組んでいくことが大事である。</p>
委 員	<p>○地域自治のこれまでの取組について詳しいお話をお聞きすることができた。</p> <p>○第6章の地域自治のなかで、町としての地域自治の取組を推進していく意思と理由を明確に示してくことが大事である。町民の多くは財政的な面が背景にあって地域自治を推進しているような認識もあるのではないか。</p>
事 務 局 本 社	<p>○昨日も、地域自治組織の方と意見交換を行った。試行錯誤して進めている状況もあり、一緒に話をしながらこれからの方針を示して、計画にも書き込んでいきたい。</p>
地 問 研 加 藤	<p>○第6次総合計画の策定もお手伝いした。当時、地域自治のあり方について検討していたときから現在に至るまで、考え方はぶれておらず、方向性は間違っていない。</p> <p>○今後の時代に備えて、余裕のあるうちから地域のあり方を考え、自治を進めていこうとする大切な取組である。</p>
会 長	<p>○いま手元に、9月に発行される雑誌「ガバナンス」の原稿があるので、参考資料としてみなさんにも配布していただきたい。</p>
委 員	<p>○地域予算制度の導入を推進していくのは結構なことだが、あまり細かいところまで記載するのはいかがなものか。</p> <p>○尺度として「効率」の追加を考えているとのことなので、詳しく教えてほしい。</p> <p>○資料2にある類似団体との比較について、近隣の隣接した犬山市や小牧市なども選んだらどうか。</p> <p>○今後、このようなきちっとした資料であれば、アンケート調査結果も含めて、計画の中に資料編として盛り込んでいったらどうか。</p> <p>○資料6の土地利用について。色分けがわかりにくいので、もう少しわかりやすく示してほしい。</p> <p>○また、土地利用方針に新たに追加されている「活用ゾーン」の説明について、大口町の主要課題に触れられている航空宇宙産業についても、具体的に盛り込んだらどうか。</p> <p>○土地利用を、もっと積極的に推進する表現にしてもらいたい。「検討を可能とする地域」という表現ではなく、もう少し町として推進する姿勢を示してほしい。雇用創出や町の産業活性化につながる重要な視点である。</p>
会 長	<p>○農地保全ゾーンと集落ゾーンは、こんなあいまいな表現にならざるを得ないか。</p>
事 務 局	<p>○「効率」という言葉には、貴重な財源の使い方を意識させて、効果的に能率的に</p>

社 本	<p>仕事を進めることを目指すために、追加することを検討している。</p> <p>○土地利用に関して、前向きな表現になるように見直していきたい。</p> <p>○各種の資料や分析結果等については、膨大な量になるので、まとめ方についてはお時間を頂いて、可能な限りお出ししていきたい。</p>
委 員	<p>○別冊で資料編とするなど、いくつか方法はある。</p> <p>○総合計画策定のプロセスや検討材料などがわかりにくいので、こんな資料に基づいて作り上げてきたということを示したほうがよい。</p>
委 員	<p>○1点目は収入の確保について。歳入の増加策が基本計画のどこにあるのか。歳入が減れば、計画そのものが成り立たなくなる。</p> <p>○2点目は主要課題について。基本目標にもつなげていくべき内容なのに、主要課題と基本目標の数があっていない。主要課題（3）については、その対応策がどの基本目標に示されるのかが見えにくい。</p> <p>○3点目は、まちづくりの戦略について。住みたいまちの戦略になっているが、近隣市町の戦略に対してこの戦略が勝てるのか。</p> <p>○長期戦略をもって進めている他市町の取組と比較して、戦略のベンチマークを示して勝てるのかわからない。そこを見えるようにしてほしい。</p>
会 長	<p>○どこのまちも、我がまちが勝つつもりで戦略を策定しているが、それを選ぶのは一般の市民や企業である。大口の魅力をどう示していくのかがポイントとなる</p> <p>○課題と目標の対応に関するご質問についてはどうか。</p>
事 務 局 岩 田	<p>○ご指摘のように一対一では対応していない。分野別計画で対応策を示していく。具体的には第5章第2節の産業・経済で、具体的な施策・事業を盛り込んでいく。</p>
会 長	<p>○主要課題（3）で「先人の継承」といいつつ、基本目標には「まちの活力を創造」しか書かれていないと、ややトーンダウンしているように見える。</p>
地 問 研 加 藤	<p>○主要課題は、大口町の課題を総合的にまとめた内容にしている。</p> <p>○一対一の関係ではないのは、例えば若い世代の定住という課題に対して、多様な分野の関連施策を総合的に推進していくことが必要である。産業についても、工業用地だけでなく道路基盤の整備など様々な分野が関わってくる。一つ分野で対応できる課題ではない。</p> <p>○トーンダウンしているように見えるが、とくに「まちづくり戦略」のなかで、分野を超えて横断的・戦略的に取り組んでいく施策・事業をまとめた。</p>
事 務 局 社 本	<p>○近隣との勝ち負けについては、ご指摘も踏まえつつ、人口2万人の程よい都市規模と財政的なアドバンテージを活かして、大口町の特性を生かして魅力を打ち出していくことが大事であると考えている。</p>
委 員	<p>○戦略的に優位性があっても難しい場合がある。その中で、どうやって勝ち抜いていくのか、はっきりとした方策をまとめることが大切である。</p>
会 長	<p>○大口町の独自性やユニークさとともに、自治体連携の方針を示すことも求められる。</p>
事 務 局 社 本	<p>○現在、自治体連携については小牧市や豊山町などと、お互いの独自性を生かしつつ一緒に取り組める仕事はないか、共通化できる部分について研究を進めてい</p>

	<p>る。</p> <p>○具体的な広域連携の一つとして、公共施設の電気について、広域で一括交渉して価格を落として購入するなどの取組も進めている。</p>
会 長	○今後 10 年間のまちづくりの見通しを示す必要があるとのご意見かと思う。
地 問 研 加 藤	<p>○小さい町なので、周辺市町と連携しないとできない取組もある。</p> <p>○ごみ処理施設などは、広域で検討を進めている。下水道を公営企業化して企業会計で進めるように国の方向性も示されている。上水道との兼ね合いもあり難しい面もあるが検討を行っている。</p> <p>○ベンチマークとして、数値化するのは大事であると思うが。</p>
委 員	<p>○他の市町との違いを意識することを意図してベンチマークと表現した。</p> <p>○他の市町の長期戦略をチェックして、そこの比較の中で大口の特徴や強みを見ていくことが大事ではないか。</p>
地 問 研 加 藤	<p>○他市町で近年に見直されている計画や戦略については、参考になる部分も多々あろうかと思う。</p> <p>○他市町の戦略と完全に比較することは難しいが、計画の内容については今回の第 7 次できちんと見直しをかけていきたい。</p>
委 員	<p>○資料 1 の第 1 編第 2 章にある計画策定の背景の（3）で、「危機管理的要素の多様化」との表現がある。</p> <p>○今後の戦略において、企業に望むことを把握するためにヒアリングなどは行っているのか。また、今後は予定しているのか。</p> <p>○防災面では、避難場所として企業の駐車場を提供したり、企業の自家発電を提供するなど、企業も積極的に地域貢献や CSR に取り組んでいる。</p> <p>○企業に対して望むもの、また企業が町に提供できるものについて、検討をお願いしたい。</p>
会 長	○企業市民という考え方のもと、地域貢献や CSR としてのかかわり、事業活動を通じた納税など、企業に期待することをどこまで書き込んでいくのか。
事 務 局 岩 田	<p>○防災や産業などに関する個別計画においては、ご意見を伺いながら一緒に策定を進めている。事業活動が盛んな大口においては、今後も大事な視点であると思う。</p> <p>○本審議会に町内企業従事者を入れることで、企業のニーズや意見を反映していきたいと考えている。</p>
委 員	<p>○まちづくりの戦略における、企業の姿がみえにくい。</p> <p>○当社としても、地域貢献を大切にしていきたい。企業として、具体的にこんな面で貢献してほしいという内容を、具体的に示してほしい。</p> <p>○当社では、インターンシップの受け入れ、新規採用などに取り組んでいる。現在、町外から 3 名の学生をインターンシップとして受け入れている。</p> <p>○大口町の子どもたちが地元企業を知るきっかけが必要である。町内から人材が確保できれば、会社にとっても通勤費などのコスト負担が減り、お互いにメリットがある。</p>
地 問 研	○戦略の「産業振興」について。進学時には一度町外に転出しても構わないので、

加藤	<p>就職の際にインターンシップなどで受けいれてもらい、選択肢として考えてもらえるようにしたい。</p> <p>○就学助成なども含めて、地元企業にUターンして就職できるような具体的な取組を戦略の中で描いていけるといい。</p>
会長	<p>○そろそろ終了予定時間が近づいてきた。どうしても発言できなかったことがあれば、後日ペーパーで事務局にご意見を頂きたい。</p> <p>○第7次計画は、こんな感じで作っていききたいという町の考え方について、おおむねご理解をいただけたと思う。次回は、</p> <p>○総合計画は、町民の全世代に対応できるような幅広い内容になる。次回以降は、具体的に書き込んだ計画案を資料として示してもらった上で、何回かにかけて集中的に審議をお願いしたい。</p>
事務局 岩田	<p>○前任の片岡委員がご異動になり、新たに今尾委員に変更になりました。ご紹介が遅くなって申し訳ございませんが、一言ごあいさついただきたい。</p>
委員	<p>○前任の片岡に代わり、新たに愛知銀行大口支店に参りました今尾謙一と申します。よろしくお願い致します。</p>
会長	<p>○次回の会議日程については。</p>
委員	<p>○3月議会での上程を想定して議論を進めていくことでよいのか。</p>
事務局 社本	<p>○議会前に決めるわけにはいかないのでは含みを持たせた説明になっている。</p> <p>○議会できちんと説明したうえで、できれば、3月までに総合戦略と合わせてじっくり議論を進めていくというスケジュールで決定したい。</p>
会長	<p>○ぜひスケジュールをとって丁寧に議論していきたい。</p>

#### 4. その他

特になし

以上